

授業科目名	母性看護学実習(2300408)		
時間割名	母性看護学実習(70212)		
時間割担当	服部律子		
実施期	後期	単位数	2 必修
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

生み育てる女性および家族の健康を支援する基礎的能力を養うことをねらいとする。

1. 周産期外来および妊婦に対する集団指導の場において、妊婦および胎児の健康状態のアセスメントおよび看護を学ぶ。
2. 周産期病棟において、産婦・褥婦・新生児・家族の健康状態のアセスメントおよび看護を学ぶ。
3. 実習全般を通して、自己の生命観・父性観・母性観を発達させる機会とする。

学習の到達目標

1. 周産期にある女性の身体的、心理社会的特性を理解し、対象をアセスメントすることができる。
2. 新生児の生理的变化を理解し、健康状態をアセスメントすることができる。
3. 周産期にある女性への看護を実践することができる。
4. 新生児への看護を実践することができる。
5. 周産期の母子とその家族への実習を通して、生命の尊さ、母性や父性の発達、family centered careについて考えることができる。

授業方法・形式

実習（臨地）

授業計画

オリエンテーション、実習のまとめを含め、2週間の実習を行う。

実習では、外来での妊婦の看護、産褥期の母子に対する看護など、周産期の母子への看護を行う。

自己の学びを整理し学びを深めるために、臨地で週に1回、1～2時間のカンファレンスを行う。

実習配置、実習スケジュール等の詳細は実習要項に示す。

成績評価の基準

実習目標への到達度(実習内容、実習記録、最終レポートを含む)80%、カンファレンスへの参加状況10%、実習態度10%

授業時間外の課題

実習での学びの整理、対象への看護を実習するために必要な復習を毎日、実習終了後に行い、翌日の実習に臨むこと。

メッセージ

今までに学んできた母性に関する科目だけでなく、看護の基礎となる科目での学びを統合するよう心がけてください。

皆さんの学習にご協力くださる母子やご家族に対し、学習者としての真摯な態度で実習してください。

また、わからないことや困ったことなどはすぐに教員や臨地実習指導者に相談してください。私たちは皆さんが有意義で学び多い実習ができるようサポートしていきたいと思っています。

実習中は感染予防行動に努め、体調管理を行ってください。

教材・教科書

特に定めなし。今までの母性看護学系の科目で使用した教科書を用いてください。

参考書

適宜、紹介する。